デイリーレポート

船長署名 フ. Oran e

船名	大 島 丸		情報発信日時			2025		年	10	月	24	日	12	時	00	分
現 在 位 置	航海中		時	分		t	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td colspan="2">_</td><td colspan="2">N/S</td><td colspan="2">Long.</td><td></td><td colspan="2">_</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">E / ₩ ></td></lat.<>		_		N /S		Long.			_				E / ₩ >	
	停泊中	12	時	00 分		ħ	既位	<u> </u>			二見港					
		<lat.< td=""><td>27</td><td>- 0</td><td>5.7</td><td>Ν</td><td>1/S</td><td>Lo</td><td colspan="2">Long.</td><td>42</td><td>-</td><td>11</td><td>8</td><td>E/</td><td>₩></td></lat.<>	27	- 0	5.7	Ν	1 /S	Lo	Long.		42	-	11	8	E/	₩>
	錨泊中		時	分		ħ	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td></td><td>Ν</td><td>1/S</td><td colspan="2">Long.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>Ε<i>十</i></td><td>₩></td></lat.<>		-		Ν	1 /S	Long.				-			Ε <i>十</i>	₩>
	操業中		時	分		t	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td></td><td>Ν</td><td>1/S</td><td colspan="2">Long.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>Ε</td><td>₩></td></lat.<>		-		Ν	1 /S	Long.				-			Ε	₩>
	観測中		時	分		t	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td></td><td>Ν</td><td>1/ S</td><td>Lo</td><td>ng.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>E/</td><td>₩ ></td></lat.<>		-		Ν	1 / S	Lo	ng.			-			E/	₩ >
本船状況気象海象	針路:	-	度	船速:		-	ŀ	ĸt	天候	:	(0				
	風向:	NE		風速:		2.5	m	/s	視界	:	-	7	ž	I		
	波高:	0.1	m	風浪階級	:	1		うねり階級: 0				0				
乗船者 状況	乗組員	現在員:		19	名		健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:														
	生徒	現在員:		11	名		健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:														
	指導教官	現在員:		3	名		健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:														
	アト゛ハ゛イサ゛– スタッフ	現在員:		1	名		健康	状態	:		良好			不良		
		摘要:														3

○本船動静

【学校側コメント】

昨日のダイビング実習での生徒の感想は「綺麗だった!」「透明度が良くて色々な魚とかサンゴも見ら れて素晴らしかった!」とダイビング醍醐味を味わったようです。帰船後は器材の塩抜き等を念入りに行 い、次の実習に備える…自分たちだけでなく、次の生徒のために万全な状態で引き続くのが極めて大事 であり、大切なことです。これからもその気持ちを忘れずに各実習に取り組んで欲しいと思っておりま す。

また、昨日の早朝に客船「飛鳥Ⅱ」が入港しました。そして本日は大島丸の前方に焼津水産高校の実習 船「やいづ」が入港しました。寄港地で隣り合わせのように他府県の実習船に出会うことは稀ですが、 それぞれが目的を持って航海実習を行っている仲間であること、互いに「航海の安全を祈る」シーマン シップの心得を生徒には感じ取って欲しいと思っております。